

# 県営新球場市中心部へ

## 文化芸大 溝口教授ら 浜松市などに要望

県が計画する新野球場の市民グループが十九日、浜松市役所を訪れ、建設候補地を現在



星野副市長に要望書を手渡す太田さん(右)＝浜松市役所で

の遠州灘海浜公園篠原地区(浜松市西区)から市中心部へ変更するよう求める要望書を、鈴木康友市長と花井和夫市長宛てに提出した。現計画に異議を唱える要望は初めて。

要望したのは、シドニー五輪野球強化本部長を務めた太田誠・駒沢大硬式野球部OB会長(右)＝南区福塚町、東京五輪十種競技日本代表やプロ野球巨人のトレーニンングコーチを務めた鈴木章介さん(左)＝南区寺脇町、パルセロナ五輪柔道銀メダリストの溝口紀子・静岡文化芸術大教授(中央)＝中区田町ら二十人でつくる「新球場と浜松百年の計を考える市民有志の会」。

要望では、新野球場は中区の市街地などを候補地とし、経済効果や地域活性化、スポーツ文化振興などにつなげるよう求めた。一方、西区篠原地区へは、東京五輪の追加種目に予

## 市民と中電による 原発意見交換会

### 9月から牧之原市

牧之原市は九月から、原子力発電をテーマに市民と中部電力による意見交換会を開く。十九日の市議会全員協議会で説明した。十一月までに全四回を予定している。

公募に応じた市民と中電職員、市職員を五人程度のグループに分けて意見を交わす。進行役は市民が務める。参加者は全体で四十人

ほどを想定、全四回とも参加してもらう。市は月内にも参加希望者を募るといふ。

西原茂樹市長は浜岡原発の永久停止を主張しているが、中立の立場で聞く。議員からは「中電のための会にならないように」と求める声が出た。

西原市長はこれまで中電によるテレビCMを「一方的な宣伝で対話になっていない」と指摘。中電側に意見交換会への参加を呼び掛

定されるスケートボードやサーフィンなどの強化、普及を目的とした「スケートボードパーク」設置を訴えた。現状の計画地については、市民の十分な合意形成がなされていない▽津波の際には特別警戒区域に指定され、避難施設としては不適切▽風が強く野球場には不向きで経済効果が期待できないなどを反対理由に挙げた。

太田さんは「時間をかけて検討するべきだ。見切り発車すれば後悔することになる」と述べた。星野副市長は「市議会特別委員会で協議し、県とも調整したい」と話した。また、浜松軟式野球連盟は十九日、現計画地への早期建設を求める市長、市議長宛ての要望書を提出した。田口悦夫会長(中央)は「東部と中部にあって西部にない県営野球場の建設は長年の悲願」と述べ、風の影響については「プレーの支障になるとは考えられない」との見解を示した。(古榎山祥伍、赤野嘉春)

平成28年(2016年)7月20日(水曜日)

責争

戸五

乗斤

屋貝

## 新野球場 元アスリート 変更要望

### 競技団体は早期建設求める

浜松市西区の遠州灘海浜公園篠原地区で県構想する新野球場について、構想変更を求める県西部出身の元アスリートらの団体と、推進を訴える地元競

技団体「浜松軟式野球連盟」が19日、それぞれ市役所を訪れ、市議会に要望書を提出した。構想変更の要望や競技団体からの要望書の提出は初めて。



構想の変更を求め、要望書を提出する太田誠氏(右端)ら＝19日午後、浜松市役所



新野球場の建設推進を要望する浜松軟式野球連盟の田口悦夫会長(中央)ら＝19日午後、浜松市役所

変更を提言したのは駒沢大硬式野球部元監督の太田誠氏と東京五輪十種競技日本代表の鈴木章介氏、バルセロナ五輪柔道女子銀メダリストの溝口紀子・静岡文化芸術大教授らでつくる「新野球場と浜松百年の計を考える市民有志の会」のメンバー

5人。代表の太田氏は「県がお金を出すから(篠原地区で)良い」というのは大きな疑問。(強風や砂ぼこりで)半年間も利用できない場所では経済効果は見込めない」と述べ、星野副市長らに要望書を手渡した。

溝口教授は「浜松の『新国立問題』。今はアスリートの視点が欠けている。最高の力を発揮でき、活性化をもたらす魅力的な球場にするには防災との両立は難しい」と訴えた。要望書は、建設予定地が津波で浸水する危険があり、強風や砂ぼこりなど立地条件が不適切と指摘した上で、中区の市街地に多目的の大型球場建設、篠原地区にはサーフィンやスケートボードの強化施設建設を求めた。

一方、少年から社会人チームまで100人以上が所属する浜松軟式野球連盟の田口悦夫会長らは「スポーツ全体の盛り上がりや地域活性化のため長年待ち望んでいた。一日も早く建設に着手して」と早期建設を求めた。